## 5-10 御前崎における絶対重力変化

## Absolute Gravity Change at Omaezaki

国 土 地 理 院 東京大学地震研究所

Geographical Survey Institute

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

#### (1)はじめに

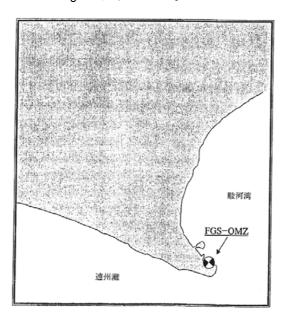
駿河湾地域の重力変化の監視を目的として,国土地理院と東京大学地震研究所は協力して,御前崎町において絶対重力測定を実施している。今回は 1996 年 7 月以降,2000 年 6 月までにおこなった計 18 回の測定について報告する。

### (2)測定について

測定地点は,国土地理院・御前崎第一地殻活動観測場に 1996 年 7 月に設置した基準重力点(0MZ-FGS)である。第 1 図に,測定地点の位置を示す。

使用器械は Micro-g Solutions 社製の絶対重力計 FG5 (シリアル番号は国土地理院が#201 または#203, 地震研究所が#109) である。

表 1 および第 2 図に測定結果,表 2 には各種補正に関する情報をまとめた。測定結果に対する標準偏差はいずれも 0.001mgal 以下である。



第1図 御前崎基準重力点の位置

Fig.1 Site Location of OMZ-FGS

測定年月		機器番号(実施機関 <sup>†</sup> )	絶対重力値	有効落下数	標準偏差 <sup>‡</sup>
			[mgal]		[mgal]
1996年	7月	# 201 (GSI)	979 752.0770 ± 0.0002	16,611	0.0272
1996年	11月	# 109 (ERI)	979 752.0830 ± 0.0006	6,467	0.0451
1997年	2月	# 201 (GSI)	979 752.0852 ± 0.0003	10,142	0.0304
1997年	5月	# 201 (GSI)	979 752.0809 ± 0.0002	21,758	0.0230
1997年	7月	# 109 (ERI)	979 752.0865 ± 0.0005	15,937	0.0684
1997年	10月	# 201 (GSI)	979 752.0824 ± 0.0002	17,895	0.0277
1997年	12月	# 109 (ERI)	979 752.0862 ± 0.0010	5,585	0.0733
1998年	2月	#203 (GSI)	979 752.0803 ± 0.0006	28,437	0.0929
1998年	7月	# 203 (GSI)	979 752.0823 ± 0.0004	39,339	0.0710
1998年	9月	# 109 (ERI)	979 752.0887 ± 0.0008	7,564	0.0667
1998年	12月	#203 (GSI)	979 752.0854 ± 0.0004	11,693	0.0457
1999年	3月	#109(ERI)	979 752.0848 ± 0.0003	6,813	0.0255
1999年	7月	# 203 (GSI)	979 752.0850 ± 0.0002	26,038	0.0327
1999年	9月	# 109 (ERI)	979 752.0863 ± 0.0003	8,318	0.0232
2000年	1月	# 109 (ERI)	979 752.0905 ± 0.0002	11,468	0.0257
2000年	3月	# 203 (GSI)	979 752.0905 ± 0.0006	5,956	0.0438
2000年	3月	# 109 (ERI)	979 752.0913 ± 0.0004	6,809	0.0340
2000年	6月	# 203 (GSI)	979 752.0873 ± 0.0003	13,633	0.0321

- (†) GSI;国土地理院, ERI;東京大学地震研究所
- (‡) セット間の観測値に対する標準偏差をあらわす.

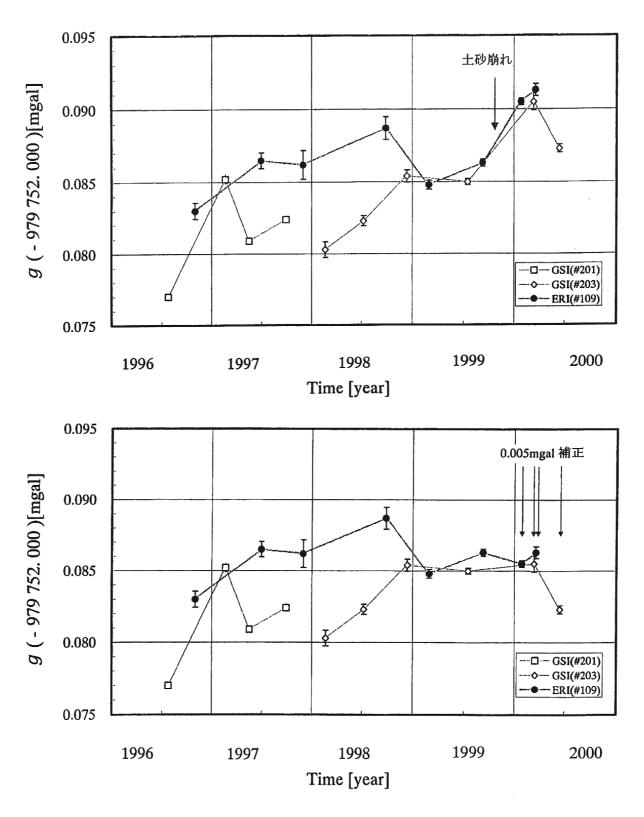
# 表 1 御前崎基準重力点における絶対重力値

Table.1 Absolute Gravity Value at OMZ-FGS, obtained by using FG5 Absolute Gravimeter

測:	定点の	)緯	度·	経	度・標	票高	34. 6006°N, 138. 2289°E, 6m
器	械	髙	(	か	化	成	重力値は金属標の上面から130.0cm直上に化成
							重力鉛直勾配 dg/dh=-0.2545 mgal/m
固	体潮	汐	δ	ファ	クク	<i>,</i> _	1.164 (ただし永久潮汐については1.0)
気	圧 補 正		王	アドミッタンスは, 0.0003 mgal/hPa,			
							標準大気圧は標高にもとづき, 1012.53hPa
極	潮		汐	:	補	田	IERS Bulletin Bによる極位置を使用, δファクター=1.164
							(ただし2000年6月のデータにはBulletin Aを使用)
海	洋	潮	ì	タ	補	E	ERI値はSchwiderski 8分潮で補正, GSI値は補正なし
							(最終重力値への影響は0.001mgal以下)
処	理		ソ		フ	ト	Olivia Ver.2.2

表 2 各種補正情報

Table.2 Auxiliary Information



1999 年 10 月 27 日,豪雨により土砂崩れが発生した,観測地点から 20m 離れた場所で,高さ 10m 幅 5m の土砂が崩壊した。この影響をモデル計算から 0.005mgal の重力増大効果と推定した。

第2図 1996年7月以降の御前崎基準重力点における絶対重力変化

Fig.2 Absolute Gravity Change at OMZ-FGS since July 1996